

# 報告

## 九州沖縄支部会報告

鷹野重之（九州産業大学）

### 1. はじめに

2022年3月19日に九州沖縄支部会が開催された。前回につづき、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う措置として、Zoom を利用してのオンライン開催となった。今回の支部会では招待講演1件を含む4件の講演があり、19名の参加があった。ここでは支部会の概要を報告する。

### 2. 講演

支部会のプログラムを図1に示す。はじめに3件の一般講演があった。最初に松坂さんより、「『よかばい！』九州の星空の活動」という題目で、九州の若手を中心とした天文普及活動の紹介があった。今後の活動について会場からの意見を交えつつ議論が行われた。

次いで上田さんより「天文教育におけるAR教材の開発」という題目での講演があった。A-Frameを用いたWeb AR教材の開発例と授業での実践例の紹介があった。生徒からのフィードバックを受けての改良作業や、AR教材の作成方法についての解説がなされた。

一般講演の最後に川端さんより「五ヶ瀬待ちの町おこし×星見」という題目での講演があった。宮崎県の五ヶ瀬町にはすばらしい環境があるが、LED照明の普及などにより夜空が明るくなりつつあり、星空環境をいかした町づくりが課題であることが述べられた。その上で星空観望会やキャンプイベント、NPOとのコラボレーションなどが紹介された。

休憩の後、彗星探索者の村上さんより、「彗星と星空を楽しむ」という題目で招待講演をお願いした。村上さんが少年期の彗星観測をきっかけに彗星探査にあこがれを持った経緯から、大学時代の活動休止を経て、自作望遠鏡で彗星捜しを再開していくまでの経緯をご紹介頂いた。近年ではLINEARなどの自動探査の登場により眼視観測での彗星発見が難しくなっているものの、2002年のスナイダー・村上彗星、2010年の池谷・村上彗星の発見に至ったエピソードをお話頂いた。

### 3. おわりに

来年度も九州沖縄支部では、冬期に支部会を開催する予定である。多くの方にご参加できれば幸いである。

鷹野重之

#### 2021年度 日本天文教育普及研究会 九州沖縄支部会

- 開会・一般講演
  - ・「よかばい!九州の星空の活動」松坂伶
  - ・「天文教育におけるAR教材の開発」上田智
  - ・「五ヶ瀬町の町おこし×星見」川端孝幸
- 休憩
- 招待講演
  - ・「彗星と星空を楽しむ」村上茂樹
- 事務連絡

図1 プログラム